

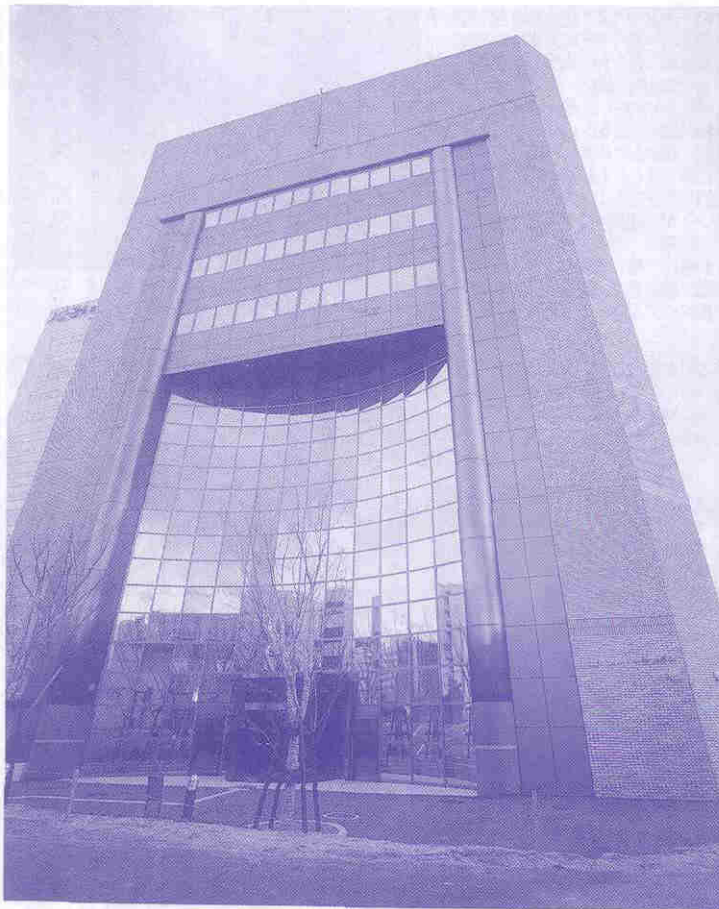
仙台市連合町内会長会 市連長会だより

平成5年3月

第 4 号

仙台市連合町内会長会
市連長会だより

題字は石井仙台市長



仙台市シルバーセンター

(青葉区花京院) 一三二二

目次

あいさつ

②

仙台市連合町内会長会
会長 早川 五兵衛

仙台市長 石井 亨

区連協活動状況

③ ⑦

先輩政令都市「札幌市」訪問

⑧

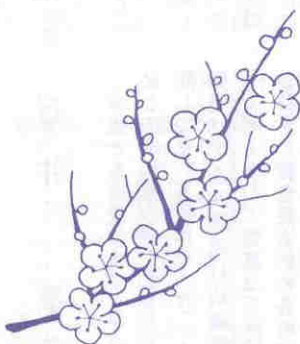
仙台市連合町内会長会
庶務理事 斉藤 三郎

市連長会の活動

⑧

編集後記

⑧





あいさつ

仙台市連合町内会長会会長

早 川 五兵衛

皆様にはご家族おそろいで希望に満ちた新年をお迎えのことと心からお喜びを申し上げます。昨年は内外の情勢がまことに多端な一年であり、皆様方には、何かとご苦勞の多かった年ではなかったかと思ひます。

さて、仙台市連合町内会長会は、昭和四十七年に設立以来今年で二十一年目を迎えることになりました。設立当時の連合町内会数は四十二連合町内会でありましたが、現在は九十八連合町内会となり設立当時をふりかえると、かなりの変貌でございます。平成元年の政令市移行に伴って各区毎に区連協の組織づくりを行い、各区役所と一体となって地域の特性を活かしたまちづくりに取り組みを行っていらっしゃると思います。

政令市移行後は、大都市としての基盤整備である再開発や外縁部における宅地開発など市街地の拡大には著しいものがあり東北の中核都市として着実に発展を遂げておるわけです。また高齢化、国際化、情報化など二十一世紀に向かっての推進が見られるところでございます。しかし一方では、バブル経済の崩

壊に伴う景気の低迷など厳しい社会情勢にあるわけですが、仙台市におきましては、地域別の均衡ある基盤整備や高齢化への対応福祉の充実、環境問題など大きな課題を抱えております。こうした課題を実現するために

は、市民一人ひとりが暮らしやすい町づくりをどうすべきか、市民としてできることは何かを真剣に考えていただく姿勢をもつことが大切と考えます。都市化の進展に伴い地域社会のつながりが希薄化しておる中で、町内会活動は地域住民のコミュニティ活動の輪が大きく広がる重要な役割を担っておるわけでございます。どうか各地区におかれましては、町内会活動育成強化に尚一層のご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

連合町内会としては、皆さん方の英知を結集しながら市政への参加を積極的に行い、行政側と一体となって二十一世紀に向けた新たなまちづくりの推進を果たしていきたいと思います。最後に各町内会の益々のご発展と市民の皆様のご多幸を心からお祈りを申し上げます。新春のあいさつといたします。



あいさつ

仙台市長

石 井 亨

ロジエクトが始動しているところであります。

また、豊かな市民生活を築くため、高齢化社会に対応する「豊熟化社会づくり」と地球環境保全につながる「新しい杜の都づくり」を市政運営の最重要課題と位置づけ、諸施策を総合的に展開しながら高福祉都市の実現と緑豊かな都市づくりに努めてまいります。「新しい杜の都」を創造して二十一世紀社会に大きく飛躍を遂げてまいります。また、山積した課題は多くの行政課題が山積したしております。また、明るく住みよい魅力あるまちづくりを進めていくためには、皆さまがたの積極的な市政への参加がぜひとも必要であります。したがって、このたび時代の新しい課題に対応し、市民による、市民のための新しいまちづくりの運動を進める「新しい杜の都づくり市民協議会」が設立の運びとなりますことは、まことに喜びに耐えません。市といたしましても、市民と行政が車の両輪のごとく協力しあって「新しい杜の都づくり」を進めていくため、積極的な支援を図ってまいります。

今後とも市政のますますの伸展と住民福祉の向上に全力を傾注してまいります。どうか住民自治組織のリーダーとして豊富な経験をお持ちの貴会長を始め各町内会長さん並びに市民の皆様、英知と総力を結集していただき、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、仙台市連合町内会長会のご健康を心から祈念いたしまして私のあいさつといたします。



青葉区

平成四年度
青葉区連合活動について

仙台市が政令指定都市に移行され、区制が敷かれてから五年目を迎えたわけですが、その間新たな組織づくりや地区連合町内会相互の連携強化に務めてまいりました。平成四年度は宮城地区との一体化をはかることができ、区役所その他の機関との対話を深め、まちづくりに努力してまいりました。特に今年度は新しく単位町内会長に就任された方々の研修会、近年社会活動への女性参画はめざましいものがありますが、地域活動への一層の参画を促進するため婦人研修会を開催したところ両研修会共関心度は高く盛会裡に終えることが出来ました。また役員会・理事会の開催など諸事業推進のための協議を行っておりま

す。
青葉区連合町内会長協議会
○地区連合町内会 三十四地区
○単位町内会 四百五十七地区

○世帯数 九万五千世帯
○班(組)数 六千二百班
(未加入除く)

町内会長 研修会

私たちの住む地域社会は急激な高齢化・情報化など社会情勢が大きく変貌する中で、町内会の運営や活動内容も多様化を示していますが、住みよいまちづくりと地域福祉の向上をめざし、地域活動の指導者として、平成四年度に向けて新しく町内会長に就任された方々を中心に、今後の地域諸活動の育成指導に資していただくために、青葉区連協主催で研修会を開催いたしました。当日は秋色の節とは言え残暑なお厳しい折にもかかわらず多くの参加により、実りある研修会として終了することが出来ました。

日時 平成四年八月二十八日
会場 仙台市シルバースセンター
参加者 九十五名

演題及び講師

○市政の概要について
仙台市長 石井 亨氏

○区政の概要について
青葉区長 橋本 秀男氏

○広聴業務と町内会育成事業について
青葉区地域振興課長 大原 英夫氏

青葉区地域振興課長

○地域環境整備事業について
青葉区管理課長 真壁 桂三氏

青葉区管理課長

真壁 桂三氏

○町内会の役割について
青葉区連協理事 品川 八二氏

品川 八二氏



会長(新任)研修会

婦人研修会 盛会裡に終了

近年地域社会活動への女性参画は目を見はるものがあり、大変好ましい現象で、このことは私たちの地域団体活動の分野でも、地域の中で女性の方がより参画しやすい機会づくりを促進することが望ましく、また仙台市においても男女の共同参画で築く新世紀の仙台をめざして、仙台市女性行動計画推進事業に積極的に取り組みを展開されているが、当青葉区連協としても、地域活動の中での人づくりの一環として、各理事及び町内会長各位の特段のご協力により開催したところ、準備いたしました会場は正にロビーまで溢れる参加となり大盛会で、熱気あふれる研修会として終了することが

出来、ご協力下さいました皆様に感謝申し上げます。

日時 平成四年十月二十七日
会場 斉藤報恩会館
参加者 四百十三名

演題及び講師

○市政の概要について
仙台市長 石井 亨氏

○地域活動における女性参画
仙台市女性企画課長 太田 洋子氏

○一枚の絵はがき
仙台市野草園名誉園長 菅野 邦雄氏

仙台市野草園名誉園長

菅野 邦雄氏



婦人研修会

平成四年度地域懇談会

私たちの生活環境をより「住みよいまち」にするための地域と行政との意見交流を図る懇談会が、地区連合町内会の主催により次のように開催されました。
日時 平成四年七月三十日

場所 八幡コミュニティセンター
※主な懇談内容
街路灯整備・澱橋周辺市道等の整備・臨時バス運行・生活ゴミ集積所及び不法投棄関係・その他

○荒巻地区町内会連合会
日時 平成四年十月十九日
場所 荒巻コミュニティセンター

※主な懇談内容

○荒巻地区町内会連合会
日時 平成四年十月十九日
場所 荒巻コミュニティセンター

※主な懇談内容
仙山線ガード・荒巻小学校入口歩道整備・北四番丁大和町線の工事方法・荒巻公園及び街路灯の整備・その他

○桜ヶ丘学区連合町内会
日時 平成四年十月十六日
場所 桜ヶ丘コミュニティセンター

※主な懇談内容
バス路線及びモノレール対策・道路改良整備・青葉公園下の汚水処理跡地の管理

○東六地区町内会連絡協議会
日時 平成五年一月二十八日
場所 仙台市シルバースセンター

※主な懇談内容

東六コミュニティ・センターの改築・市道整備及び私道整備への助成・通勤バスの運行・空地・空家の放置対策・地域避難場所の確保・除雪対策・宮町消防分団詰所の改築

○国見地区連合町内会
日時 平成五年一月二十九日
場所 国見コミュニティ・セン

ター

ター

ター

ター

ター

ター

※主な懇談内容

警察官派出所の新設・四ツ谷堀の改修・八幡六・七・八丁目地内広瀬川護岸の改善・小石沢鶏橋下流の改修・八幡七丁目下水道整備・西地部の新



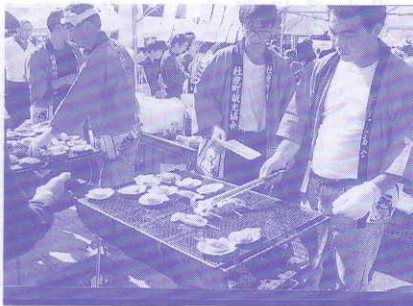
平成四年度の宮城野区連合町内会長協議会活動について

宮城野区はコミュニティづくりを強力に進め、各地区それぞれの企画にもとづき仙台市の地域福祉施策の充実を図ってまいりました。地域のコミュニティセンターも、従来の会議室重点の施設から軽体育に活用出来る多目的ホールを主体として地域住民の方々の健康増進の高揚に大きな成果を上げております。燕沢コミュニティセンターでは、燕沢地区連合町内会の各位の協力で初期の目的を充分発揮して地域の皆様から大好評を博して

おります。

又、平成六年四月オープンを予定されている原町地区のコミュニティセンターも、時代の要望に答える施設を目標に、行政と地域団体と密接なる連携のもとに進めております。

第四回を迎えた宮城野区民ふるさとまつりは、昨年度より県下の市町村とのふれあい広場を開設、今年度は鯨の町牡鹿町のご参加を願った。



昨年度は、山の幸の鷺沢町のマリンパークのPRと郷土芸能八ッ鹿踊りの披露、今回は海の幸でホエールランのPRと海

場所 福沢市民センター
※主な懇談内容

北四番丁一岩切線の街路工事
・宮沢一根本石線の計画・梅田川ポンプ場建設・歩道整備及び通学路の確保・街路灯・

信号機の整備・市民センターの利用方法・その他
○北六地区連合町内会
日時 平成五年二月二十六日
場所 松尾神社祈念会館
※主な懇談内容

産物の特設即売会、生かき、帆立の殻焼きのサービス、郷土芸能は荒潮太鼓の披露などにぎやかに展開、更に実行委員会も昨年とスタッフも変わったので今年度はその特色を生かすべく努力、仙台の伊達藩時代の職人芸や大道芸の披露ということで落語家の柳亭きん楽さんの出演にて、ガマの油売りやバナナのたたき売りなど口上おもしろく熱演された。当日は秋晴れの好天にも恵まれ、昨年よりも二割増の人数で一年毎に盛会になっております。

今回特筆すべきことは、宮城野区創立三周年記念式典を平成四年二月盛大に挙行いたしました。石井市長はじめ仙台市の三役が出席の上式典を開催いたしました。記念行事の記念品として宮城野区全図の航空写真を一階、ロビーに設置、区内の各施設の案内役をしております。写真は最も新しい平成四年八月撮影のもので住民より大好評をいただいております。

政令指定都市昇格第四回目の成人式は今年も千七百余の新成

人を迎えて盛大に仙台サンブラザにおいて開催、石井市長のお祝いのメッセージ、市議会議長の祝辞、区連協会長の成人者に対する新成人の心構え「自分を大切にしたい」、なぜならば自分を大切にする人は他人も大切にされる、そこに慈愛の芽が出るそれが幸せのもとである旨成人に贈る言葉とした。

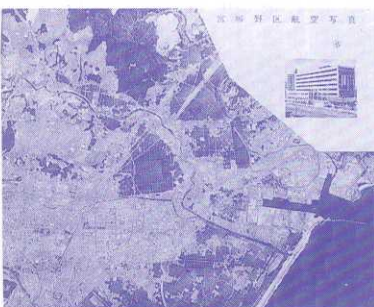
仙石線の地下化工事や元寺小路福室線の建設は、宮城野区の今後の発展に大きな役割をもちます。仙石線の地下化が早期に完成を見ないと区役所前に予定されている重要施設の建設が遅れ問題である。指定都市仙台の飛躍的発展は宮城野区の発展と共にあります。

宮城野区並びに若林区は仙台市の国際化の東の玄関口にもなっており、今後の期待が大きいので、我々区連協も益々努力精進しながら仙台市発展を願うものであります。

平成五年一月二十一日

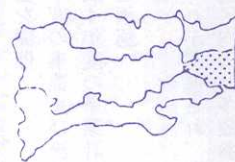
宮城野区連合町内会長協議会

会長 永田 百男



都市計画道路の開通見通し・市道の拡巾工事・地下貯水槽の建設・その他
青葉区連合町内会長協議会
会長 伊藤 馨

若林区



若林区連協の活動について

若林区連合町内会長協議会、平成4年度の主な事業活動について、開催順に紹介させていただきます。

1. 六郷地区町内会連合会との交流会について

8月22日六郷地区町内会連合会との交流会で、地曳き網を行いました。



名取川河口での地曳き網引き

伊藤区長、職員の方々にも参加していただき、40名にもなり好天にめぐまれ、早速、料理し酒の肴で一献傾けながら、参加町内会長とのさまざまな問題、など、和気あいあい話し合います。親睦を深めました。

2. 「若林区民ふるさとまつり」開催協力

10月31日・11月1日若林区民ふるさと創生事業実行委員会主催の第4回「若林区民ふるさとまつり」に対し、区連協として、全面的に協力した。両日とも好天にめぐまれ、7万2千人を超える区民の参加があり、我がふるさと意識の高揚とコミュニケーションづくりに大きく貢献した。



若林区民ふるさとまつり
区役所南側広場での開会式

3. 若林区町内会長等移動研修会開催

11月6日区内の町内会長等一

〇八名の参加を得て、東北電力女川原子力PR館・原子力発電所の施設見学をしました。
原子力エネルギーについて、係員より説明を受けた後、町内会長等より、さまざまな質問があり、あらためて資源のない我が国の原子力エネルギーについて再認識した。



町内会長等移動研修会で
女川原子力発電所PR館にて

見学後は、鮎川ステーションで昼食をとりながら、町内会の現状など、さまざまな問題の意見の交換を行いながら親睦を深めました。
昼食後は牡鹿ホールランド及び月の浦の支倉常長出帆の地を見学し有意義な研修会の一日を過ごすことができ、参加町内会長等より大変好評をいただきました。

4. 若林区まちづくり協議会設立総会の参加について

12月5日私たちの街をもっと良いまちにと、区内の各地域、

団体、の「まちづくり運動」の掘り起こしネットワーク化、提言やマスタープランの作成を事業ないし活動目標とした。若林区まちづくり協議会の設立総会が開かれました。

若林区連合商店会、区連協が中心となつて、今年6月より準備を進めてきたものであります。総会には、各種団体や県議、市議、学識経験者などの代表と関係者約一〇〇名が出席しました。会長には寛和夫東北学院大教授、副会長に区連協会長佐藤文也会長が就任しました。

今後は、まちづくりの意見を広く区民より聞くためプロジェクトをつくり事業を推進する。



東北電力仙台営業所との懇談会

5. 東北電力株式会社仙台営業所との懇談会について

12月8日東北電力仙台火力発電所を施設見学後懇談会に入り、杉山東北電力仙台営業所長より、仙台市の著しい発展と高度化する

る都市環境に対応するとともに、お客様へのきめ細かなサービスを地域と一体となった事業所運営をしたいので南営業所を開所する旨のあいさつがありました。つづいて、各理事よりさまざまな質問、要望がなされた。仙台南営業所は若林区沖野二丁目1に平成5年3月1日にオープンする予定であり、若林区、太白区を担当させていただくとお話がありました。

6. 区連協理事の研修会について

12月18日区連協理事の研修会を、区長、各部長をお迎えして若林区館で行った。

テーマは、体育振興会及び消防後援会の対応について。各理事の意見の交換を行いながら区長、各部長より助言をいただき、有意義な研修会であった。

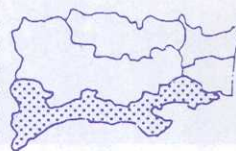
今後の運営に生かしていきたいと思ひます。

以上が、若林区連合町内会長協議会の平成4年度のこれまでの主な活動であります。

若林区連合町内会長協議会

会長 佐藤 文也

太白区



太白区連協

平成四年度の歩み

仙台市はいよいよ太白区役所周辺・長町商店街・長町貨物ヤードを中心とする南の副都心構成実現に向けてスタートした。発足4年目を迎えた太白区連協は、呼応して各地域において特性を生かしたまちづくりが要請される年となった。

以下平成4年度の主な事業活動について紹介します。

4年4月1日

早川太白区連協会長が、4年3月6日市連会長に就任し職務を開始

4年4月23日

区連協総会を開催

平成3年度の事業及び決算並びに平成4年度の事業計画及び予算を承認

4年5月17日

青葉まつりが開催され、各連協会長他区内より多数参加（堤人形行列を展開）

4年6月24日

第1回太白区民ふるさと創生事業実行委員会総会が開催され各連協会長が出席

4年7月9日

仙台市町内会役員永年勤続表彰式典が市民会館で開催され各連協会長が出席

4年10月7日

第2回太白区民ふるさと創生事業実行委員会総会が開催され各連協会長が出席

4年10月8・9日

区連協移動研修会を開催秋田県小安峽温泉を会場にまちづくりの研修を行い、日頃の実践活動の発表のあと活発な意見交換があり、今後の活動にとって有意義な研修となる。

また途中花山村役場を訪問し町長さん他幹部職員より過疎の村におけるまちづくりの説明を受け、その創意工夫と真摯さに感銘

4年10月18日

第4回太白区民ふるさとまつり（本まつり）が太白区役所周辺を会場に開催される。

4年10月18日

実行委員会会長を務める早川会長はじめ各連協会長が参与として参加し、まつりの運営に大活躍大いに盛り上げた。

4年10月18日

当日は過去最高の9万6千人の人数があり、区民自らの手によるまちづくりと連帯を目指した所期の目的を達成した。

4年10月26日

太白区町内会長研修会が仙台ホテルで開催され、石井市長他幹部職員、区内の町内会長が出席研修と交流を深めた。

4年11月6日

区連協全体会を開催

みちのく湖畔公園を見学の後レークサイドのドライブインで行い、これまでの活動の総括と今後の取り組みについて討議する。

4年12月4日

区連協対東北電力仙台営業所との懇談会を開催

代ヶ崎火力発電所及びあわびの養殖場を見学の後、街路灯の設置、町内会の各種啓発活動に電柱を利用する問題等幅広く意見を交換

4年12月7日

太白区民ふるさとまつり事業報告会が開催される

各連協会長が出席し、まつりの報告の後出店者、出演者、参加者と意見を交換し次回に向け貴重な場となる。

4年12月18日

区連協対太白区選出市議会議員との懇談会を開催

区連協の申し入れにより農協南会館において初めて開催された。

4年12月18日

尾崎区長さん他幹部職員の出席を得て太白区内のまちづくり全般に亘り忌憚のない意見交換が活発に行われ、今後のまちづくりの活動にとって有意義な懇談会となった。

5年1月28、29日

区連協全体会の開催

秋保地区において石井市長さん、尾崎区長さんの出席をいただき研修会を兼ねた懇談会を開催

5年3月中旬（予定）

区連協の役員会及び全体会を開催

平成4年度の活動の総括を行い、平成5年度総会開催に向け討議を行う。

5年3月中旬（予定）

また日程的に可能であれば他区連協との交流を実現したいと思います。

以上で平成4年度の活動の紹介を終わりますが、今後とも地域にあって潤いと活力のあるまちづくりのため行政と一体となつて取り組んで参る所存であります。

4年12月18日

太白区連合町内会長協議会

会長 早川 五兵衛

4年12月18日

区連協対太白区選出市議会議員との懇談会を開催

区連協の申し入れにより農協南会館において初めて開催された。



第4回太白区民ふるさとまつり（区役所前）



移動研修会（花山御番所にて）



泉区連合町内会長

協議会

平成4年度活動状況

平成4年6月16日に開催された泉区連合町内会長協議会総会では、本郷武之氏の退会に伴う会長欠員により、鷲尾栄一郎会長代行(副会長)が会長となることを決めました。

そして、副会長1名の補充は、五年度総会までに行わないこととし、役員1名欠員のまま新会長のもと事業をスタートしたところです。

これまでの主な事業を次に紹介します。

▽全体会議

平成4年8月1日 表彰贈呈内規及び慶弔に関する申し合わせ事項について協議し、議決しました。

なお、適用期間は

表彰状贈呈内規

平成4年4月1日より。

慶弔に関する申し合わせ事項

平成4年8月1日より。

▽連合町内会長研修会

平成4年10月25・26日

連合町内会長を対象に一関市矢比つ温泉にて開催しました。

出席者は、区連協会員20名と佐藤泉区次長の計23名でした。

研修内容は、町内会活動に對しての損害保険制度についてで、町内会で主催する運動会やお祭り等で起こる事故に對し救済してくれるというもので、この保険にすでに加入している高森・高森東・寺岡の各連合町内会長さんを講師にお願いしました。



連合町内会長研修会
(一関市矢比つ温泉)

▽町内会長研修会

平成4年12月6・7日

単位町内会長を対象に川崎町サンレイク金房にて開催しました。

出席者は、町内会長74名・区長・区次長2名の計77名。

研修内容は、「身近な環境問

題」についての講話で講師を回谷泉区長にお願いしました。

▽泉区選出市議との懇談会

平成4年12月17日

市議員には前日までの議会にもかかわらず11名全員出席いただき、また区連協会員17名は泉区民の中で関心の高い地下鉄将監延伸問題等についての要望を出されました。これからもこのような会を継続していくことで意見が一致し、懇談を終了しました。

「自治会活動保険」に加入して

私が、「自治会活動保険」を知る機会を与えられたのは次にやるものです。

泉区連合町内会長協議会(以下「区連協」)の平成3年度研修会が、20名の参加のもと11月19日福島市もちづり公民館に於いて開催され、「町内会活動保険制度」について、西坂福島市連合町内会長及び福島市広聴課長等と意見の交換を行いました。福島市では、「町内会活動保険」を既に取り入れて実施している事に強い印象を受け、仙台市としての今後の課題ではないかと思いました。

その後、泉パークタウンの3連合町内会(高森・高森東・寺岡)では、T社及びY社より資

料を取らせ、役員会等で検討・協議して高森東・寺岡・高森の順に連合町内会単位で「自治会活動保険」に加入いたしました。

また、区連協の役員会・全体会議に於いても加入促進について審議を行い、さらに平成4年度の区連協研修会でも「自治会活動保険の加入について」と題し、20名の参加のもと10月25日に行いました。

この研修会では、菅野(高森東)・熊谷(寺岡)・相原(高森)の各連合町内会会長が加入体験者として加入までの経過について説明し、参会者より質問・意見等が活発に行われました。加入の範囲については、取り敢えず連合町内会単位が加入促進になるのではないかと思考致します。

従来は、夏祭り・運動会等の一日保険の加入を行ってきたましたが、「自治会活動保険」は一年の期間であり、「賠償責任」「費用損害」「住民の傷害」「傷害見舞費用」が対象となります。そして、町内会活動には、是非とも必要な保険であると思われます。

なお、保険料・割引率・計算方法は別表のとおりとなります。高森連合町内会では、加入の第一歩として、一世帯74円の保険料で加入し一千世帯で八万四

千九百六十円の保険料となりました。

過去に於いては、運動会でケガ人がありましたが、今年度はゼロでした。保険料の増額等は今後の検討課題となります。仙台市の町内会・自治会の加入促進を期待して居ります。

高森連合町内会

会長 相原 廣之

別表〈Y社資料による〉

保険料(1年間につき)

契約コース	コース	保険金額	保険料
賠償責任 (対人・対物・対畜)	1,000万円	100万円	74円
火災・盗難	100万円	1,000円	500円
火災(日につき)	1,000円	500円	10万円
火災(日につき)	500円	500円	50万円
傷害見舞費用	10万円	50万円	8,650円
費用損害	50万円	8,650円	

※賠償責任の保険金額は、1単位、1,000円となります。

世帯数による保険料割引

1保険契約につき、世帯数に応じて、下記の割引を行います。

世帯数	割引率
200世帯以上	5%
500世帯以上	10%
1,000世帯以上	15%
2,000世帯以上	20%

保険料の計算方法

$$\left(\frac{\text{費用損害以外の世帯数による保険料}}{\text{世帯数}} \times \left(1 - \frac{\text{割引率}}{100} \right) \right) \times \text{世帯数} = \text{保険料}$$

(円単位は四捨五入し10円単位とします)

庶務理事 齊藤三郎

市長表彰は町内会長十年以上の者のみ、区長表彰は概ね五年以上としているが区に一任して

こと等とのことであった。

(平成4年度)

○市政懇談会の開催について

平成5年3月現在

同 佐々木 彪 司

会報第四号をお届け致します

が、発刊にあたり稿をお寄せ頂いた皆様に厚くお礼を申し上げますとともに、会員皆様のご健勝をお祈り致します。

長齋藤三郎

貝品川八二

小野寺達朗

早坂光男

佐々木 彪司